

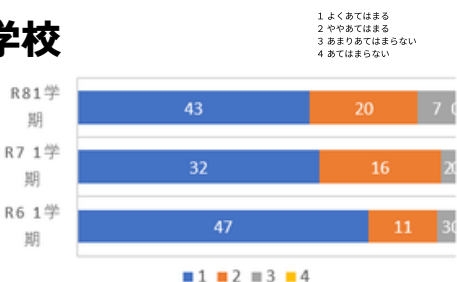
学校評価アンケート結果 1学期末

日頃よりミュンヘン日本人国際学校へのご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

80名の保護者の皆様に、グーグルフォームでのアンケートにご協力いただきありがとうございました。3年間の1学期分のアンケートの結果を比較できるようにしてグラフにまとめました。また、個別にいただいたご意見について、回答と改善策を考えました。アンケートの結果を参考にして、2学期も子どもたちの指導、支援に力を注いで参りたいと思います。ご一読いただき、よりよい学校運営のために、引き続きご支援を頂戴できますようお願い申し上げます。

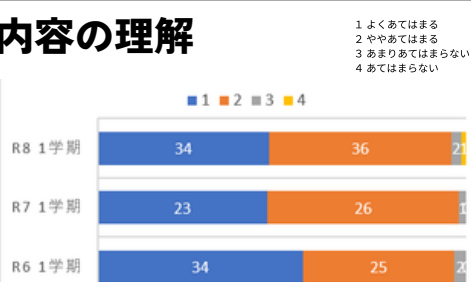
お子さんの様子について

1 楽しい学校



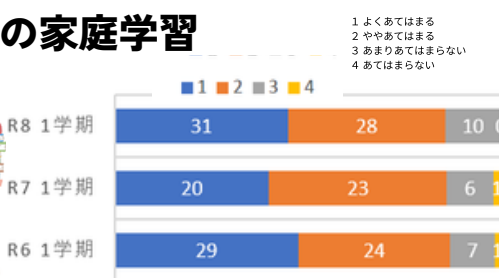
楽しく学校に行くことができている子どもたちが多くをうれしく思います。外国で暮らす子どもたちが、日本の学校と同様に学校が楽しいと思えるように、引き続き指導してまいります。一部の楽しいと感じていない子どもたちの気持ちを、面談等で聞き取り対応したいと思います。

2 学習内容の理解



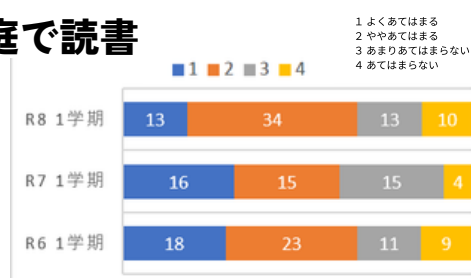
多くの子どもたちが学習内容を理解しているように思います。子どものもっている力や友達同士の協力により、授業がスムーズに進んでいます。さらに、ICT機器等を活用して視覚的にも分かりやすく、メリハリのある楽しい学習になるように努めたいと思います。

3 毎日の家庭学習



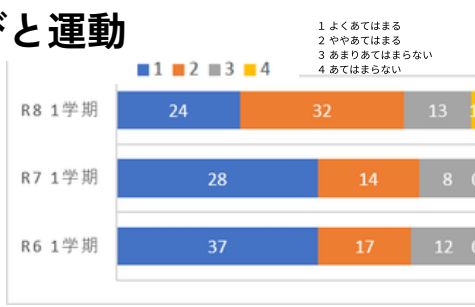
学習の手引きを確認する機会を学級で取り、家庭学習の時間を確保するよう啓発を続けていきたいと思います。中学部では、家庭学習のあり方について、教科担当が折に触れて指導しています。小学部でも、家庭での学習習慣が定着するようにご家庭と共に取り組みたいと思います。学校でも声掛けをして、きちんと家庭学習の時間をとる習慣を付けていけるように指導します。改善が見られない場合は、「自主学習ノート」の活用や1週間の学習スケジュールの作成とチェックなど具体的な方法を試したいと思います。ご家庭でも引き続き学習する時間や場所を決めるなど、ご指導をお願いします。

4 家庭で読書



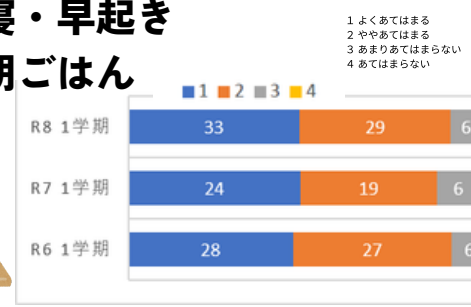
図書室ボランティアの皆様にご協力いただき、読み聞かせ(jismおはなしZimmer)を開催していただいています。保護者の方も、学校の本をご家庭で読み聞かせをしていただいている方もいると聞いています。図書室にはたくさんの日本語の良い本があります。多くの子どもたちが利用できるようにご家庭と連携して取り組んでまいりたいと思います。中学部や小学部高学年の読書量が少ないのが課題となっています。今後も図書委員会で読書を促すように取り組んでいきます。

5 遊びと運動



体育館・中庭で楽しく遊ぶ子どもたちが増えています。先生方も鬼ごっこをするなど一緒に運動する場面も見られます。小学部では、縦割り班活動で学年を越えて遊ぶ姿も見られています。2学期も引き続き、中庭や体育館での遊びを呼びかけていきたいと思います。

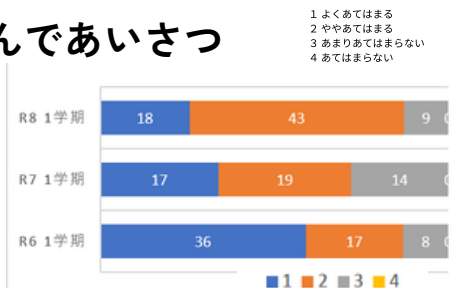
6 早寝・早起き・朝ごはん



デジタルゲームなどの普及により、夜遅くまでゲームをしていたという声も子どもたちからも聞かれます。成長期の子どもたちにとって、早寝・早起き・朝ごはんはとても大切なことです。保健室のサイラー先生とも連携して、十分な睡眠と食事の大切さの啓発を進めていきたいと思います。

7

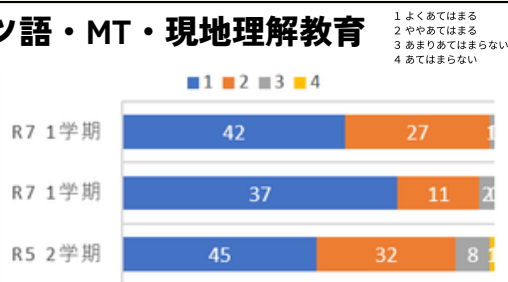
すすんであいさつ



学校の取り組みについて

1

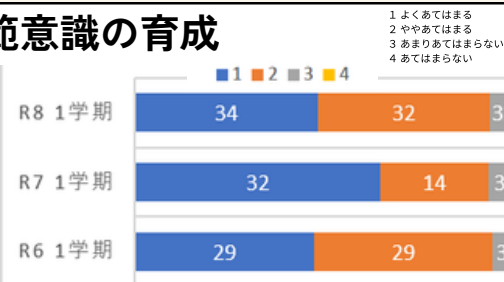
ドイツ語・MT・現地理解教育



ミュンヘンタイムを中心に、ドイツの現地理解教育を進めています。AG+の研究を通して、校外に出てドイツ語や英語を使える機会を大切に考えています。2学期は、文化祭や現地校交流もあるので、評価項目（ルーブリック評価）を活用して、子どもたちがめあてをもって活動に取り組めるように指導していきたいと思っています。

2

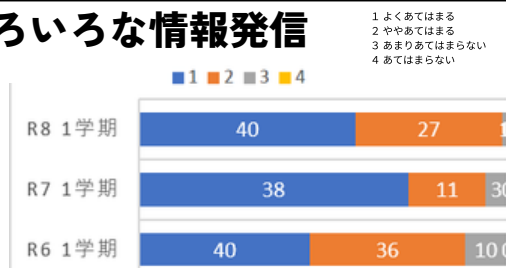
規範意識の育成



生徒指導係が中心となり、学部の集会などで生活の中で問題と思われることがあった場合はタイムリーに指導することを心掛けています。小学部では、月目標を設けて児童会が中心となって取り組んでいます。中学部も生徒会の役員が中心となって取り組んでいます。生徒指導係による長期休業前後の話を通して全校で規範意識の育成を図っています。

3

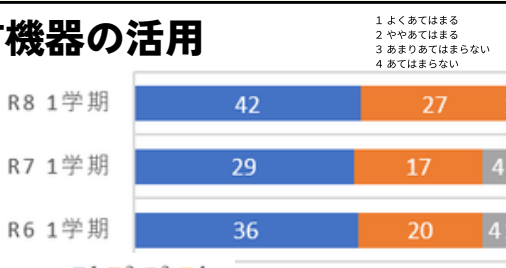
いろいろな情報発信



毎週各学年の学年だよりを時間割中心にさせていただきました。学校で撮影した学級の子どもの様子は、引き続き学期末に画像提供いたします。また行事の様子などを学校通信や校長室だより、保健だより、ホームページ等でお伝えしています。今後も行事等での子どもたちの輝く姿をお届けいたします。ホームページは、通信等の閲覧にパスワードが必要です。不明の場合は、学校までお問い合わせください。

4

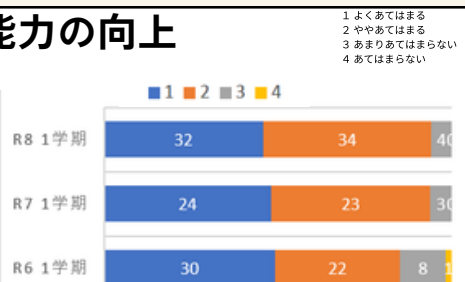
ICT機器の活用



本年度もロイロノートというアプリケーションを購入して、タブレットの活用をさらに進めています。授業研究会をもって、より効果的な使い方を授業を通して学び合っています。また、デジタル指導書を購入して、授業中の指導に活用しています。ICT機器を活用することで、学習指導要領にある個別最適化を大切にしたい授業となるように取り組んでいきたいと思っています。

5

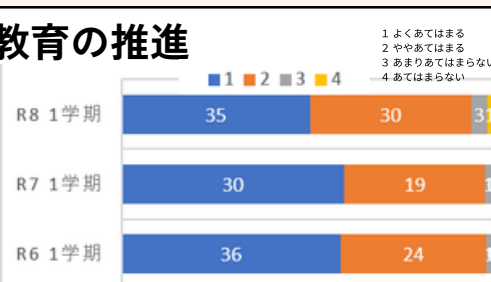
言語能力の向上



本年度もドイツ語の授業でできるだけ班編成が変わらないようにしました。ミュンヘンタイムは、その際に使えるドイツ語を担当も加わって事前指導しています。英語は、時間数に限りのある中、ガファート先生と英語担当教諭が指導しています。1, 2年生も年間10時間の英語の授業を行っています。今後は言語の活用場が多くなるようにすることを考えています。AG+の研究発表会に向けて準備を進めます。

6

人権教育の推進

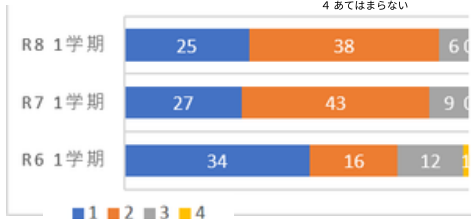


子どもたちが記入したアンケートをもとに、個別面談の時間等で子どもたちの思いを個別に聞き取るようにしています。道徳や日々の教育活動の中で、安全面や互いを尊重しながら生活することの大切さについて考える機会を設けています。引き続き、学活や道徳の時間などを上手に活用して人権教育を進めていきたいと思っています。子どもたちの気づきも大切に自主的に仲良くできるように取り組みたいと思っています。

7

キャリア教育の推進

1 よくあてはまる
2 ややあてはまる
3 あまりあてはまらない
4 あてはまらない



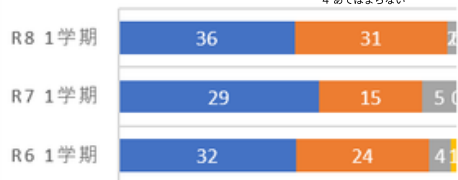
外部の講師をお招きしてキャリア教育を行っています。中学部では、本年度も日本とオンラインでつながりながら様々な職種の方のお話をお聞きする予定です。小学部でも授業の中で、担任がキャリア教育に関連することを話しています。将来の自分の姿をイメージして、自らを磨き自分らしく歩んでいってほしいと思います。外部講師として保護者の皆様にも協力いただいています。

9

言語環境の充実と日本の文化・伝統を重視

1 1 2 3 4

1 よくあてはまる
2 ややあてはまる
3 あまりあてはまらない
4 あてはまらない



文部科学省委託のAG+という事業を引き受けて「複言語環境における言葉の力の育成」というテーマで研究を行っています。学校や家庭において主な言語は日本語が多くなりますが、一歩外に出ればドイツ語や英語を使うことのできる環境があります。

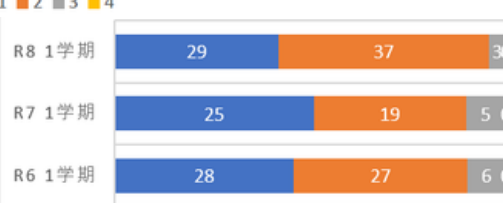
在外の地にある学校というアドバンテージを活かして、ミュンヘンタイムや現地校交流などでドイツ語や英語を活用した場をもてるようにしたいと思います。

8

相談する場と時間

1 よくあてはまる
2 ややあてはまる
3 あまりあてはまらない
4 あてはまらない

1 2 3 4



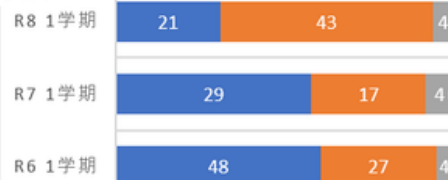
心配なことは担任などにご連絡をいただき、学部主任、管理職が一緒に対応を考えています。現地の医療機関や相談機関と連携を探りながら、相談体制を構築しています。

保護者、児童生徒の皆さんが気軽に相談ができる体制を組んでいきたいと思っています。また、健康面で心配なことは保健室のサイラー先生にご相談ください。その他、ご心配な点がございましたら学校まで遠慮なくお知らせください。

10

人的・物的環境の充実

1 2 3 4



ミュンヘンにある大きな建築事務所と打ち合わせを行って運動場、遊び場、集会室、会議室など現在の施設を拡充するために増築のプランの作成をおこなっています。

ドイツの建築の手順に沿ってフェーズごとに認可を受けながら建築が進みます。令和10年度より、建築開始予定です。

人的な面でも、派遣教員と現地採用教員が連携して引き続き丁寧な指導を心掛けていきたいと思っています。

自由記述より 温かなご支援のコメントを頂戴しました。ありがとうございました。

いつも児童生徒の為に尽力いただき本当にありがとうございます。感謝しております。先生方が日頃からクラスでの良い関わり方や言葉遣いなどについて注意くださるおかげで、クラスでの雰囲気も良くなっていると子供もいっており、感謝しております。MTや現地校との交流を通じて、ドイツの文化や社会に触れる機会が数多くあり、日本の学校ではなかなか経験できない貴重な学びの場に恵まれていると感じています。

ご意見1（家庭でのタブレットの扱いについて）

学校から配布されているipadが私物化している。限られたアプリしかインストールできない、夜間は使用できない等の制限をかけてほしいです。

スクリーンタイムを利用できるように検討をしています。スクリーンタイムはタブレットごとにかけることになるのでご家庭の協力を得て、かけていただくようになります。学校で一括してWEBの規制をすると、授業の検索等に支障が出るためよろしくをお願いします。詳しくは、後日ご連絡いたします。

ご意見2（放課後の図書室ボランティアの活用について）

大人と一緒に本を選んで借りることができたら助かります。自主学習の調べ物に取り組むこともできます。保護者向けの図書ボランティアをしています。放課後も貸出スタッフとしてお手伝いできます。保護者への協力や発信もいいのではないかと思います。



図書室ボランティアの皆さんの読み聞かせを子どもたちはとても楽しみにしております。スタンプカードを作っていたいたり、お便りを作っていたいたり熱心に活動していただき誠にありがとうございます。保護者の皆様にも、図書室の本を借りていただいております。ご家庭での読み聞かせ等にもご活用ください。その他の保護者の皆様のボランティアについては、検討してお知らせいたします。その際は、ご協力の程よろしく申し上げます。



ご意見3（夏休みの水泳教室について）

夏休みの水泳教室を楽しみにしていましたが、送迎バスが出ないと知り参加を見送りました。同じように諦めた話をたくさん聞いています。来年以降バスが復帰することを希望します。

夏休みの水泳教室は、外部業者へ委託して実施しています。送迎バスを利用する場合、教員や保護者の皆様が同乗することを求められております。その場合、保護者の皆様にもご負担をおかけすることになるため直接プールへの送迎をお願いしております。ご存知のように、ドイツで水泳指導するためには、参加するすべての職員がドイツ語の水難救助講座を受講して試験を受けたり、泳力を要する実技試験を行ったりする必要があります。また、適切な水泳施設やドイツ人の指導者を確保するのも難しい実情にあります。

ご意見4（少人数の利点を生かした個別最適化した学習）

少人数の利点を活かしてもう少し個別最適化されるのであればありがたいです。例えば英語の授業はミュンヘン日本人学校の児童にとっては、国内と同じカリキュラムでは物足りない児童がほとんどなのではないでしょうか？個別の学力に合わせ、通常の授業で物足りない児童に対しては、進んだ内容の課題を与える対応をしてくれていました。

ミュンヘン日本人国際学校では、タブレットや機器を活用した授業研究をすすめています。また、ミュンヘンタイムや語学教育などの在外教育施設ならではの教育活動を行っています。このことは先に述べた、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実とも大きくかかわっています。新学習指導要領に基づいた児童生徒の資質・能力の育成に向けて、ICTを最大限活用し、これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげるとともに、カリキュラム・マネジメントの取組を一層進めていきたいと思っております。



ご意見5（熱中症対応について）

暑い教室で扇風機も使用せずに授業を受けていることやお弁当の保管状況に心配があります。現地校は早帰り、休校でした インターも早帰りにしていたので暑い日の対応を考えてほしいです。

教室内では、必要に応じて扇風機や換気を行いながら学習環境の確保に努めております。必要に応じて地下やエアコンのある教室等での学習も行っています。

また、お弁当につきましては、教室内のロッカーなど直射日光の当たらない場所で保管するよう児童に指導しております。今後も気温や室内環境に応じて涼しい部屋での学習やお弁当の保管を考えてまいります。屋外での活動につきましては、気温だけでなくWBGT（暑さ指数）を確認し、安全に活動できる基準内であることを確認した上で実施しております。学校の休校等の判断につきましては、学校の施設状況等を考え各校で判断する旨の指示をいただいております。

今後も児童の安全を最優先に、気象状況を踏まえながら活動の内容や時間を適切に判断してまいります。



ご意見6（クラブ活動等でドイツ語英語能力の向上）

ドイツ語や英語への学習意欲が高い児童・生徒に向けて、授業に加え、クラブ活動などでさらに学べる機会があると、子どもたちの意欲をより伸ばすことができると感じます。



小学部のクラブではアンケートで英語クラブを入れましたが、人数が少なく実施されませんでした。中学部は運動系の部活に人気が集まっています。学校の教育課程は、日本とバイエルン州のものとを両立させながらカリキュラムを作成しております。余剰授業時数が無い状況で、工夫しながら指導を行っています。新たに編成替えをするのは難しい状況にあります。児童生徒の入れ替わりが激しい中、ドイツ語の授業はクラス分けを工夫して行っています。学校教育の中でできることを、さらに充実してまいりたいと思っております。ご理解の程、よろしく申し上げます。